

**検相器
EA711TA-1**



ケース

◆仕様

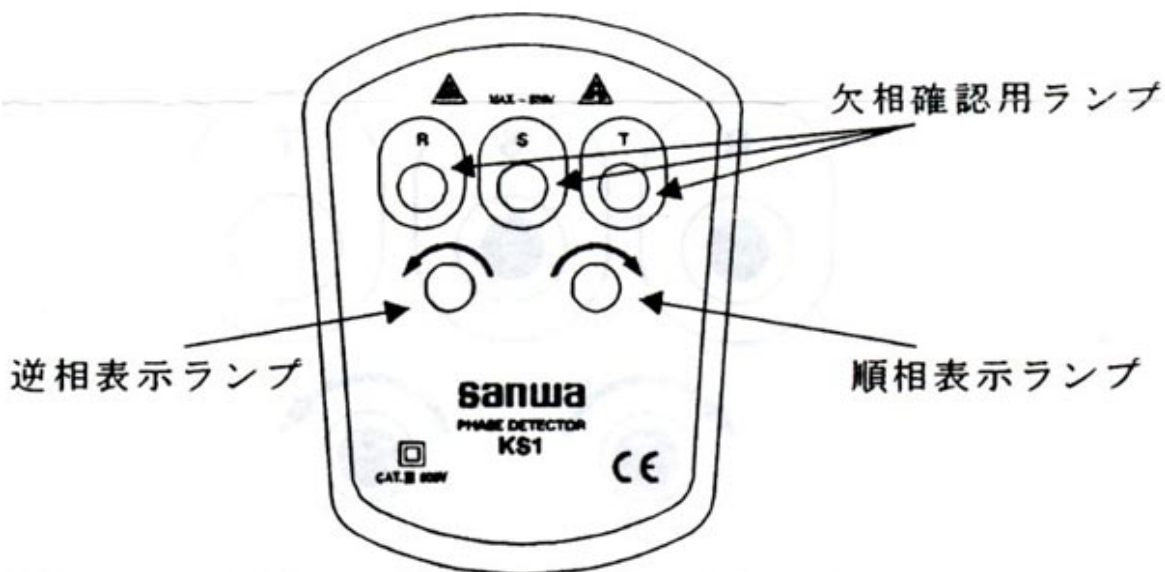
| | |
|---------|---|
| 測定項目 | 三相交流電圧の検相と欠相の判別 |
| 使用電圧 | 三相 AC100V~600V |
| 周波数範囲 | 45Hz~70Hz |
| 使用許容時間 | AC110V:連続 AC220V:約3時間 AC480V:約12分 |
| 動作温度/湿度 | 0℃~40℃ 湿度80%以下 |
| 適合/準拠規格 | IEC61010-1 CATⅢ 600V IEC61326、IEC61010-031 |
| 寸法(mm) | 102.0(L)×78.0(W)×32.5(D) |
| 重量 | 約212g(テストリード込み) |
| 付属品 | 携帯ケース(C-KS)、取扱説明書、検査合格書 |

ケースサイズ…150×40×180(H)mm(ループ:40mm)
テストリードサイズ…約60cm(赤・白・青)

◆特徴

- ランプで三相の順相、逆相と各欠相をチェック出来ます。
 - はさみ易い大きなクリップ
 - 国際安全規格IEC61010-1 CAT.Ⅲ 600V
- *接触型ですので、被覆の上からは測定できません。

◆本体名称



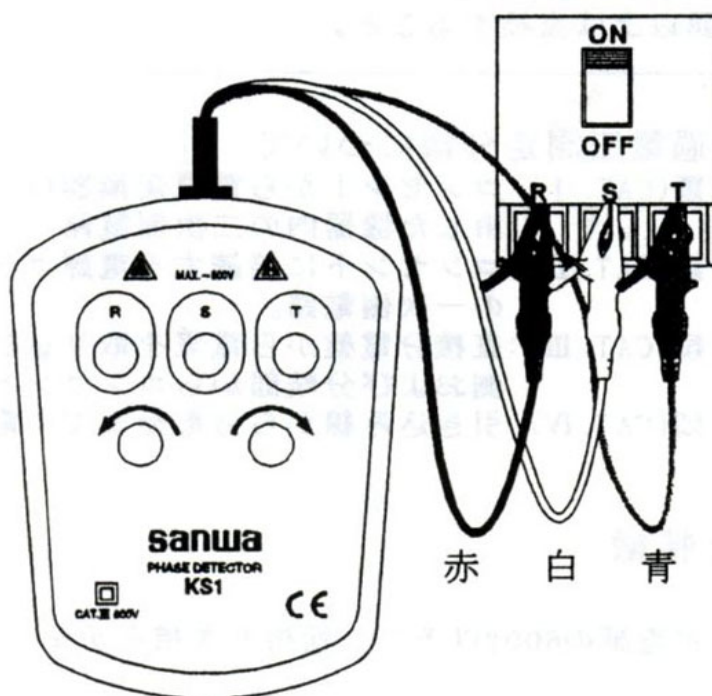
◆測定方法

⚠注意

始業点検

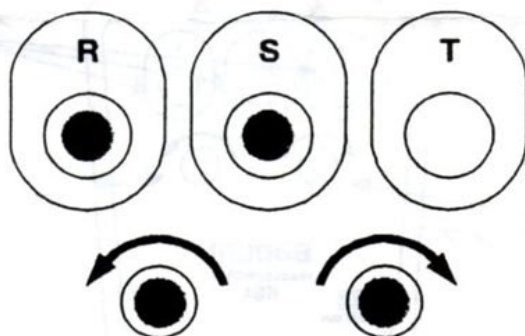
- 既知の電源で動作確認をしてください。確認方法は下記
1.～3.項を参考にしてください。
- 正しく動作しない場合は使用せず、必ず修理依頼してください。

1. 下図のように3相電源に検相器を接続します。
赤色のアリゲータクリップをRに、白色のアリゲータクリップをSに、青色のアリゲータクリップをTに接続します。



2. 各相の欠相確認

欠相している場合は欠相確認用ランプが消灯します。



例：上図の場合、R相、S相はランプが点灯し、T相がランプが消灯で、T相が欠相状態。

備考：●欠相時には順相表示ランプ、逆相表示ランプも同時に点灯します。

●RランプまたはTランプが消灯している場合、ヒューズの断線の場合もあります。

3. 順相、逆相の確認

時計回り（右回り）は順相表示ランプが点灯し、逆時計回り（左回り）は逆相表示ランプが点灯します。



例：上図の場合、順相表示用LEDが点灯し、R-S-Tの順相の状態。

備考：欠相時またはヒューズ断線時には順相表示ランプと逆相表示ランプの両方が点灯します。